

国大協、後期試験(3/12以降)に向け、不正行為の最大限の再発防止措置を宣言！

来年度以降は、今後の再発防止措置等で検討

旺文社 教育情報センター(23年3月3日)

- 国立大学協会(国大協)は23年3月2日の総会で、京都大の前期日程試験の入試問題がインターネット上に投稿されたことについて、入試の公平性、信頼性を損なう由々しき問題であると断じた。
- 3月12日以降に実施される後期日程試験に向け、監督を強化するなど、各大学の実情に応じた現時点での最大限の再発防止措置を講ずることを宣言した。
なお、来年度以降については、今後の解明等を踏まえ、具体的な再発防止措置等について検討を進めるとしている。
- 総会で確認された「宣言」は次のとおり。

平成23年3月2日
社団法人国立大学協会

入試問題投稿事件について

先般実施された京都大学の前期日程試験において、試験時間中に、入試問題の一部がインターネット上の掲示板に投稿されたことは、入試の公平性、信頼性を損なう由々しき問題である。

われわれ国立大学は、当面、後期日程試験に向けて、試験監督者による監督の強化をはじめ、各大学の実情に応じた現時点において取り得る最大限の再発防止措置を講ずるとともに、不正があった場合には厳正に対処するなど、入試の信頼性の確保に全力を挙げることをここに宣言する。

なお、事件の詳細については、関係者による解明を待つ必要があるが、それも参考に、今後の再発防止措置等について検討を進めるものとする。